

回復期リハビリテーション病棟入院料に係る掲示事項

I 入院患者対象疾患の比率

算出期間		2026年5月 ～ 2026年7月 までの3ヶ月間	
回復期リハビリテーション病棟からの退棟患者数			38 名
退 棟 患 者 の う ち わ け	①	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症、義肢装着訓練を要する状態又は手術後2か月以内	29 名
	②	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折の発症、二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後等2か月以内（再掲）	9 名
	③	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後2か月以内	0 名
	④	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後1か月以内	0 名
	⑤	股関節又は膝関節の置換術後1か月以内	0 名

II 実績指数について

リハビリによるFIM（日常生活機能）改善状況について

FIMとは、機能的自立度評価表の略で、実際の日常生活能力を評価する方法です
運動（食事・更衣・トイレ等）13項目と認知（理解・記憶等）5項目に分かれており、全18項目を7段階で評価します
最低18点（全面的に介助が必要な状態）⇒ 最高126点（ADLが自立かつ安全な状態）となります
実績指数とは、入院患者全体のFIMの改善点数と入院期間の比率で算出したものです
数値が多いほど入院期間が短く、かつFIMが改善を示していることを表します

算出期間		2026年2月 ～ 2026年7月 までの6ヶ月間	
①	前月までの6か月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数		70 名
②	①のうち、実績指数の計算対象とした患者数		50 名
③	②の患者の退棟時のFIM得点（運動項目）から入棟時のFIM得点（運動項目）を控除したものの総和		889 点
④	②の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和		23.9
⑤	実績指数（③／④）		37.1
⑥	前回に報告した実績指数		37.7